




平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

1 実践テーマ	【 I、IV 】
2 実施対象者	福岡県立久留米聴覚特別支援学校 中学部2年生 5名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 音楽科 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年のオリンピック・パラリンピック開催時には、日本（東京）に世界中の選手が集まることや、大会の開幕セレモニーでは、「ファンファーレ」というものが演奏されていることを知る。</li> <li>・校内で開催する音楽発表会の開始時に、セレモニーとして、クワイヤーホーンでファンファーレを演奏する。</li> </ul>
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでのオリンピックで演奏されたファンファーレの映像を視聴する。（ロサンゼルス大会、東京大会等）</li> <li>・1964東京オリンピックのファンファーレの楽譜を見て、曲を把握する。</li> <li>・クワイヤーホーンの基本的な奏法を知る。</li> </ul>
	  <p>&lt; クワイヤーホーン &gt;</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>クワイヤーホーンで複数の音を同時に鳴らすことにより、和音の響きを味わう。</li> <li>各音のクワイヤーホーンの担当者を決め、1964東京オリンピックで演奏されたファンファーレの練習をする。 (クワイヤーホーンは、単音のみが出る楽器であるため音階別に1台ずつある。)</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽発表会の開演時に東京オリンピックのファンファーレを演奏する。</li> </ul>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去のオリンピックでのファンファーレを鑑賞する活動を通して、オリンピックの歴史について学ぶことができた。</li> <li>オリンピックの開会式に対して興味・関心をもち、次の東京オリンピックではどのような開会式が行われ、どのようなファンファーレが演奏されるのか、という関心が高まった。</li> <li>オリンピックではファンファーレが演奏されるが、デフリンピックではどのような形で開会式が行われているのかという疑問をもち、調べようとする姿が見られた。</li> <li>次の東京オリンピックに自分たちがどのような形で参加するのかについて考え、開会式のチケットの申し込み方法や、選手・ボランティアとしての参加などについて具体的にイメージを広げることができた。</li> </ul>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>聴覚障がいをもつ生徒たちは、意識的に取りあげないと、開会式の音楽等の演出に気付きにくい状況がある。そのため、過去の動画等の資料を活用し、オリンピックに対するイメージを広げるようにした。</li> <li>簡単に和音を演奏できるクワイヤーホーンを使うことで、ファンファーレらしい演奏を行うことができた。</li> </ul>
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単に演奏が出来る分、クワイヤーホーンの音量は、ファンファーレとしては少し小さめだったので、音量を補充する工夫が必要であった。</li> </ul>
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回は中学部2年生を対象に実践を行ったが、他の学年に対しても、順次取り組んでいきたい。</li> </ul>